

CASEで伸びる自動車材料市場

講師：倉地 育夫氏

株式会社 ケンシュー 代表取締役 工学博士

産業界のイノベーションは材料分野の新たなイノベーションを刺激する。20世紀末に起きたセラミックスフィーバーは、発電用ガスタービン熱効率を改善する開発が推進され、脆いセラミックスからエンジニアリングセラミックスが生み出された。そして、我が国の基幹産業である自動車分野にまでその技術は浸透していった。

最近の自動車産業では、CASEにより市場の大きなイノベーションが起きている。その引き金となっているのはアルビントフラーの予言した高度情報化社会であり、今日みられるインターネットの普及である。この情報技術について5Gが注目され、その仕様がCASEのイノベーションを加速する。基幹産業である自動車産業で起し始めたイノベーションにより、新たな材料市場が生み出される可能性が高まるとともに20世紀に予見された負の誘電率に関する特許出願が増え始めている。本講演では、CASEについて解説するとともに無機材料から有機材料まで俯瞰し、自動車市場で今後成長する高分子材料に焦点を当ててその技術開発の方向を示す。また、高分子材料の電気特性をプロセスングにより劇的に改善した事例や、高分子材料の誘電率制御技術、高分子材料で実現した負の誘電率についても解説する。

無機材料から有機材料まで研究開発した経験を活かし、CASEを支える情報通信分野の材料技術の傾向を事例に、材料技術の「知の体系」についても触れて、材料技術者以外の方にも参考になるセミナーを目指す。

【講師経歴】1997年3月名古屋大学工学部合成化学科卒業、1979年3月同大学院工学研究科応用化学専攻博士課程前期修了、1983年4月科学技術庁無機材質研究所留学（1984年10月まで）、1992年9月学位取得（工学博士；私立中部大学）、1979年4月ブリヂストンタイヤ入社（現；ブリヂストン）、1984年11月ブリヂストン研究開発本部復職、1991年9月ブリヂストン退社、1991年10月コニカ第四開発センター入社（主任研究員）、1993年4月福井大学工学部客員教授、1993年11月コニカ感材技術研究所主幹研究員、2005年8月コニカミノルタビジネステクノロジー生産本部生産技術センターデバイス技術部第3デバイスグループリーダー、2008年10月同社生産技術センターデバイス技術部担当部長、2011年3月コニカミノルタビジネステクノロジー定年退社（57歳）、2011年3月ケンシュー設立代表取締役社長就任（現在に至る）**【受賞歴】**2000年5月第32回日本化学工業協会技術特別賞受賞、2004年5月写真学会ゼラチン賞受賞（その他ブリヂストンの超高純度βSiC半導体技術が日本化学会化学技術賞受賞**【活動】**高分子学会代議員、高分子同友会開発部会世話人、日本化学会代議員、日本化学会産学交流委員会シンポジウム分科会主査、同委員長、日本化学会春季年会講演賞審査委員長など、共著多数

開催日時	2020年5月15日（金）10：30～16：30	【会場】 ちよだプラットフォームスクウェア ミーティングルームB1F 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
受講料	45,000円＋税 ※資料・昼食付 *メルマガ登録者 40,000円＋税 *アカデミック価格 24,000円＋税	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】2名以上同時申込で申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、2名目は無料、3名目以降は半額です。

★【参加対象者】新入社員から中堅社員までを対象に解説するが、開発担当の管理者が受講しても面白い内容で構成している。

★【得られる知識】20世紀末から今日までの材料技術の視点でとらえた情報通信分野の動向と高分子材料に関わる電磁気分野の知識が得られる内容である。

【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

- | | |
|---|---|
| <p>1. CASEがもたらす自動車市場のイノベーション
 (1) CASEとは (2) CASEと5G
 (3) CASEが生み出す新たな材料市場
 (4) 自動車市場における高分子材料の需要予測</p> | <p>3. 高分子材料のプロセッシング
 (1) プロセッシング技術概論 (2) フィルム材料のプロセッシング (3) ゴム材料のプロセッシング (4) シリコンLIMS (5) 射出成形・押出成形技術 (6) コンパウンディング技術 (7) カオス混合</p> |
| <p>2. 材料技術のイノベーション
 (1) 20世紀に完成した素材技術 (2) セラミックスフィーバーからナノテクノロジー (3) マテリアルズインフォマティクス (4) プロセッシングで材料を創り込む時代 (5) 負の誘電率</p> | <p>4. 高分子材料の電気特性制御
 (1) 誘電体現象論と負の誘電率 (2) 高分子の電気特性とパーコレーション (3) パーコレーション転移の制御 (4) 事例</p> |
| | <p>5. まとめ</p> |

弊社記入欄		セミナー申込書	
セミナー名		CASEで伸びる自動車材料市場	
所定の事項にご記入下さい		会社名（団体名）	TEL：
メルマガ会員、登録希望の場合は○↓		住所 〒	FAX：
		E-mail：	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法		銀行振込 ・ その他	お支払予定
		2020年	月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上FAXまたはE-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <http://www.cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789